



会報 No.140 令和2年7月号

コロナ禍における保育園活動

(一社)八王子市私立保育園協会 会長 宮崎 豊彦

皆様にはコロナウイルス感染対応に日々ご努力されていることと存じます。

今年度は、コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、総会を中止させていただき、書面表決にてのご承認という形をとらせていただきました。今までにない総会の方法を取らせていただきましたが、会員園全園よりご承認をいただきありがとうございました。会員園皆様のご理解ご協力を深く感謝申し上げます。また、7月に予定しておりました全体会につきましても、6月の役員会（オンライン会議）にて3密等を考慮して中止することといたしました。尚、全体会の代わりに各ブロックでコロナウイルスへの対応やコロナウイルスによる行事の変更等いろいろな話し合いの場としてオンライン会議の開催を検討しております。各ブロックで話し合いをしていただき、情報交換を行っていただければと思います。

八王子市私立保育園協会の役員の皆様にご協力いただき、コロナウイルス等に対するアンケートを実施いたしました。会員園の皆様にはいろいろと参考にしていただき、ブロック会議等での話し合いの材料にしていただければと思います。尚、メールにてお知らせいたしました、八王子市私立保育園協会のホームページにアンケートが掲載されておりますので、会員園だけが見られるパスワードで開いてご覧になっていただければと思います。

各部会・委員会におきましても予定していた活動の中止や延期等を余儀なくされております。会員園の皆様には、大変ご迷惑をおかけしておりますが、コロナウイルス感染対応へのご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。今後は、新しい生活様式での保育園運営となりますが、なかなか気の抜けない毎日かと思えます。早くワクチンと特効薬が開発され、普段と変わらない日常の保育が迎えられることを祈るばかりです。

八王子市の保育園においても、複数の保育園でコロナウイルスの感染者が出ました。保護者への対応等いろいろと大変なご苦労をされております。コロナウイルスの感染者がいつこの保育園で出てもおかしくない状況にあります。そうした中で、子ども達の成長発達を促し、保護者が安心して職場へ向かえるよう保育園運営に努めていただきたいと思います。

国の動きでは第2次補正予算が通り、八王子市の9月議会を経て、コロナウイルス感染対策の2回目の補助金の50万円が各園に配られる予定です。2次補正の費用は、感染対策徹底のための業務増に対応した時間外手当等の人件費としての活用もできるようになる予定です。また、延長保育や一時保育、ひろば事業の各1事業につきさらに50万円が補助されるかもしれません。

厚生労働省の「保育所等における保育の質の確保・向上に関する検討会」が6月26日にこれまでの議論の取りまとめを行いました。その中で、常に子どもにとってどうかという視点を中心とすることの重要性が掲げられております。

保育園の果たすべき役割の重要性をもう一度考えながら、会員園の皆様と共にこれからも進んでいきたいと思えます。

“園長先生は 何をしているの!?”

今年度は新型コロナウイルスの影響で、夏ならではの「プール遊び」が出来ない園が沢山あるのではないのでしょうか。残念がっているのは子どもたちだけではなく、先生方も何を隠そうこの私も非常に残念に思います。プールの代わりとはいきませんが子ども達と楽しく遊べるものはないかと思案しているうちに、保育業者さんのカタログの中で、水遊びをしながら熱中症対策にもなるスプリンクラーに目が留まりました。



「これならもしかしたら作れるかもしれない…。」と考えて作るどころから子どもたちと一緒にやってみようと始めました。私はただ楽しく遊べるものを作るからということだけを宣言し作り始めました。自粛生活に飽きあきしていた子どもたちの目が輝き始め“園長先生何をしているの!?”と問いかけてくるのを強く感じました。私と関わるスタンスも子どもによって異なります。じっと眺めていたり、何か手伝うことが無いか様子をうかがってきたりと様々です。言葉ももちろんですが言葉はなくともスプリンクラーの制作を通じて多くのコミュニケーションが出来たと感じています。

費用の方も業者さんのスプリンクラーの定価の約10分の1位の費用で済みました。うちの保育園では幼児クラス・乳児クラス用と2つ制作し毎日暑い日には園庭で大活躍してくれています。是非皆さんの園でも作ってみてはいかがでしょうか？ (梅野)



シリーズ 私の保育園

社会福祉法人多摩養育園 光明第一保育園

思い 考え 動く人へ

園長 須崎 智佳子

私たちが願うこと。

心から相手のことを思いやれる人になってほしい。
自分の頭でしっかりと考えられる人になってほしい。
そして、自分の力で、たくましく行動できる人になってほしい。

だから、子どもたちには保育園で、嬉しいこと、悲しいこと、楽しいこと、悔しいこと、叱られること、褒められること。一人ひとりに、力いっぱい、たくさんの経験をしてほしい。お友だち、先生、近所のおじいちゃんやおばあちゃん。一人ひとり違う、たくさんの人たちと触れ合いながら育ててほしい。

思い、考え、動く人へ。私たちは、子どもたちひとり一人の「育ち」を精いっぱい支えていきます。

創設者である故・足利正明老師は、第二次世界大戦後、焼け野原になった八王子市八木町に生還。戦後の物資乏しい状況下にあいながらもその苦難を克服し、雲龍寺を再建。その本堂を無料託児所として開放しました。昭和23年1月、光明学園（後の光明第一保育園）の誕生です。創設者は「戦後の復興は児童の養育から」と当時食べ物にも事欠き、救いようのない状況の中、子どもたちに手を差し伸べたのでした。

あれから73年。「～ゆりかごから天国まで～ 私たちは、地域の人々が、安心して輝いた人生を実現できるよう、慈悲の心で支援します」を理念に邁進して参りました。

そして今、地下1階地上6階建ての新光明ビルと大改築した園庭で、子どもたちは日々、色々な遊具や様々な場所で、時にはドキドキ・ハラハラしながら遊び、敏捷性、機敏性、判断力、人との関わりを身に着けています。

更に、保育園が「地域の大きな家」として、日常的に地域の人々が訪れ、知恵と文化の伝承、交流を通して活力が生まれ、地域住民が家族のように子どもたちを共に育てていく新しい地域社会を構築するために邁進しております。

園庭にある樹齢350年の大きな大きないちょうの木は、子ども達を優しい眼差しで見守ってくれており、卒業生は6,137人になりました。

今後も、新時代を担う無限の可能性を持った子どもたちの、今を充実させ明日を創り出す力を養うため、子どもの基本的な生活習慣や生活リズムの育成（子どもの自立支援）と多様な体験、多様な関わり、失敗（葛藤）する経験を通して、自己充実が図れるよう環境を構成し、その子にしかないその子の光を見つけ、より輝かせることに注力して参ります。自らの意思、自分の力で、思い、考え、動くことが出来る人になることを願って…。



敬愛たかお保育園

「お子さまも大人もお互いを
尊敬しあい学びあい共に成長を！」

園長 中村 愛子

敬愛たかお保育園は平成14年4月に、2Cといて①“保護者の利便性（convenience）”と②“子どもたちにとっての快適性（comfortable）”を両立するために高尾駅前のマンションの2階に0・1・2歳児までの30名定員の園として創立いたしました。小規模ならではの良さを活かし「家庭のように過ごせる保育園」「安らぎと寛ぎがいつもある保育園」として13年間歩んで参りました。その中で、保護者や地域の方々から就学前まで継続的な敬愛保育を！との声をたくさん頂いていました。皆さまの強い願いはあり得ない奇跡を生み平成27年、現在の園舎が完成し、0歳から5歳のお子さまが元気に過ごしています。建物のシンボルは3階まで続く卵形のループ階段です。左右に広がる白く清々しい建物は鳳が



羽を広げまるで鳳凰をあたためている姿に見えます。園庭にはかき、みかん、かりん、ブルーベリー、いちじく、山桃、桃、びわなど13種類の実のなる木があり、お子さまが自分で収穫し、ジャムにしたり、コンポートにしたりして味わっています。保育園を一步出ると陵南公園、みころも公園、高尾山と豊かな自然に恵まれています。高尾の自然を愛し、草花や生物など様々な物は命を持つことを知り命を大切にすることをお子さまへと成長されています。

保育士、栄養士、看護師は三位一体となって保育に臨んでいます。常に情熱をもって真心込めて真剣にお子さまに関わる事でお子さまの無限の可能性を引き出していきます。愛され大切にされたお子さまは様々な人ととどどん繋がって「自分らしさ」を發揮していくことでしょう。敬愛たかお保育園の今年度のスローガンは“たかおの大地を踏み出そう～できるよ！大丈夫！お子さまも自分自身も信じて!!～”です。お子さまも職員もお互いを尊敬しあい学びあい共に成長してまいります！



編集後記

本来であればオリンピックで盛り上がり、子ども達も夏休みの楽しいイベントを満喫していたはずのこの夏。新しい生活様式の中で、新しい楽しみ方を見つけながらコロナウイルスが収束する日を願っています。またいつか新しい生活様式と以前の過ごし方が融合した、輝かしい楽しい日々が戻ることを信じて。 （落合）